



西町小だより

令和7年9月1日 9月号

草加市立西町小学校

学校教育目標

- よく考え工夫する子
- 心豊かで思いやりのある子
- たくましくねばり強い子

児童数 計587名



凡事徹底



校長 鈴木 輝子

今年の夏は、記録的な猛暑となりました。9月も例年より気温が高くなるとの予報が出されており、秋の涼しさを体感できるのは、もう少し先のことになりそうです。長い夏休みを終え、子どもたちが元気に戻ってきた学校には、たくさんの笑顔と活気があふれています。命に関わるほどの危険な暑さが続く中、大きな事故もなく、無事に新学期を迎えることができましたのも、日頃から保護者や地域の皆様が、子どもたちを温かく、そして注意深く見守ってくださっているおかげと心から感謝申し上げます。

さて、草加中学校区の小中学校・幼稚園・保育園・認定こども園では、「自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成」を目指し、幼保小中を一貫した教育に取り組んでいます。これは、校種や子どもの発達段階が異なっても、子どもの育ちを支える基本的な指導事項について、15年間の見通しをもって指導のねらいや指導内容を共有し、中学校区が一体となって子どもたち一人ひとりの「生きる力」を着実に育んでいくためのものです。今年度も目指す子ども像の実現に向けた具体の取組を学力向上・体力向上・生徒指導等のあらゆる視点から進めています。各園での生活経験を土台とし、各校の学習規律や生活の決まり等をそろえ、小学校で身につけたことを中学校でも継続して指導していくことで教育活動の充実を図ってまいります。

新たに始まる新学期を、子どもたちにとって実り多きものにしていくためには、何事も「凡事徹底」が大切です。子どもたちが、当たり前のことを当たり前ででき、日々の積み重ねの中で着実に力を伸ばしていけるようにしていきたいと考えます。保護者の皆様や地域の皆様との連携を一層深めながら、教職員が一丸となって、誰一人取り残さない子どもたち一人ひとりを大切にした教育の推進に努めてまいりますので、これからも皆様の変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

草加市いじめ撲滅サミット

令和7年度「草加市いじめ撲滅サミット」が、8月21日（木）に、中央公民館で開催されました。

本校からは、6年生 荒井一沙さん、4年生 花田怜さんの2名が、代表児童として立派な態度で参加してくれました。

午前中のグループ協議では、「いっしょに生きるって何？」を議題として話し合い、各学校の代表児童生徒が、中学校区ごとに熱心に話し合いながら考えを深めていきました。自分の考えをもち、対話を通して、よりよいものにまとめあげていく姿には、たのもしさが感じられました。

草加中学校区のステージ発表では、「認め合い・」（アイ・自分）・愛」の「三つのあい」をキーワードにし、互いの理解を深めながら、個人を尊重しつつ、思いやりの心でつながることを大切にしていきたいということを堂々と自分の言葉で伝える姿が大変素晴らしかったです。

サミットの最後に「いじめ撲滅サミット宣言」を全員で読みあげ、いじめのない学校、いじめのない草加、いじめのない社会をつくるために、今自分たちができること、やるべきことをやり遂げていく決意を新たにしました。

本校でも、草加市いじめ撲滅サミット宣言を受け、草加中学校区としての取組や西町小学校としての取組につないでいきます。

それぞれが、他人事ではなく自分事として受け止め、いじめをなくしていくための行動をとるようにしていきます。

草加市いじめ撲滅サミット宣言

わたしたちは、次のことを宣言します。

- 一、お互いを認め合い、助け合います。
- 一、いじめを見ずきません。
- 一、相手の気持ちを考えて行動します。
- 一、笑顔いっぱい学校をつくれます。

*この宣言は、平成25年8月28日 第1回 いじめ撲滅サミットで、草加市小中学校児童生徒代表により、宣言されたものです。